

第2回大垣公園等再整備基本計画市民検討委員会

議事録

(令和6年7月12日)

第2回大垣公園等再整備基本計画市民検討委員会を令和6年7月12日（金）市役所4階情報会議室において開催した。

次第は、次のとおりである。

1 あいさつ

2 議 題

- (1) 新大垣城ホールの機能等について（案）
- (2) 新大垣城ホールの施設規模等について（案）

委員は次のとおりである。

出席委員（14名）

竹内 治彦	溝口 正人	岡本 敏美	竹中 昌子	田中 慎也
松本 正平	箕浦 之治	三代 広子	三輪 正直	安田 典子
矢橋 達郎	浅井 光寿	河合 保孝	渡部 加佳子	

欠席委員（5名）

金森 武	杉田 邦隆	安田 忠邦	實井 美侑	原 玲佳
------	-------	-------	-------	------

市の出席者は次のとおりである。

都市計画部長	河瀬 良康	地域創生戦略課長	安田 佳樹
市民活動推進課長	古山 樹宏	商工観光課長	中島 茂樹
都市計画課長	清水 克人	公園みどり課長	辻 紳一
公園みどり課長	河田 憲章	建築課長	松原 輝幸
社会教育スポーツ課長	林 昭義	地域創生戦略課	小川 健志
地域創生戦略課	河合 泰志	公園みどり課	栗山 一嘉

	(開始時刻 13時30分)
事務局	1 開会 ※資料の確認
部長	2 あいさつ ※部長あいさつ（略）
事務局	・それでは、これよりの進行は、委員長にお願いしたいと存じます。 よろしく願いいたします。
委員長	3 議題 ・これから、議事進行をさせていただきますので、格別のご協力をよろしく願いいたします。 ・本日の会議につきましては、「大垣市審議会等設置及び運営に関する要綱」第5条に基づき公開とさせていただきます。 ■■■■の■■■■様他2名の方から、傍聴のお申し出がございましたので、ここでお入りいただきます。 ・次に議題に入る前に、本日の議事録について署名者を指名させていただきますと思います。本日は竹中昌子委員、田中慎也委員にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。 (1) 新大垣城ホールの機能等について（案） ・それでは議題の(1)、新大垣城ホールの機能等に移りたいと思います。先ほど部長さんのご挨拶にもありましたが、基本計画のポイントの一つに新大垣城ホールの建設候補地を定めることがございます。現在の利用状況などを踏まえ、施設の機能とおおよその規模感を検討し、その上で第3回以降に建設場所の諸条件を整理して、候補地などを検討していく、という流れだったと思います。 ・本日の会議では、新大垣城ホールの機能と施設規模感を検討し、概ね固めていきたいわけですが、これについて、まず、「新大垣城ホールの機能等」について事務局から、方向性の説明をお願いいたします。

事務局

- ・ それでは、資料No.1、「新大垣城ホールの機能等について（案）」に基づき、ご説明させていただきます。失礼して、着座にて説明させていただきます。
- ・ 資料の1ページをご覧ください。
新大垣城ホールの機能につきましては、現大垣城ホールの利用状況等を踏まえつつ、大垣公園等再整備基本構想の第4章「新たな時代に向けた大垣公園等の再整備方針」でお示した、「主な機能と検討事項」に基づき、新大垣城ホールに求められる機能を検討するものでございます。
- ・ はじめに、現大垣城ホールの利用状況につきましては、前回の会議でお示しをしておりますが、その概要について、改めてご報告をさせていただきます。
- ・ 正面のモニターの方をご覧くださいと存じます。
令和元年度から4年度までの4年間の利用人数でございますけれども、新型コロナウイルス感染症対策として、臨時休館等の措置がとられましたが、合計で33万6千594人で行いました。
- ・ このうち、大ホールの利用者は26万5千613人と最も多く、全体の約79%を占めております。
- ・ 目的別利用人数につきましては、令和元年度から4年度までの合計では、イベント等での利用が10万9千326人で、全体の約33パーセントを、スポーツ等での利用が22万7千268人で、全体の約67パーセントを占めておりますが、令和元年度では、その割合が、それぞれ約50パーセント近くになっております。
- ・ 稼働率は、令和元年度から4年度までの平均は、約98パーセントとなっております。
- ・ 現大垣城ホールは、スポーツやイベントなど、様々な用途で、多くの方々に利用されている、稼働率の高い施設となっております。
- ・ 利用状況については、以上でございます。
- ・ それでは、資料の方にお戻りいただきたいと思います。1ページをお願いいたします。
- ・ 新大垣城ホールに関する「主な機能と検討事項」につきましては、基本構想の「新たな時代に向けた大垣公園等の再整備方針」の中で、「中心市街地のにぎわい創出につながり、かつ、現公園敷地外への配置」、「大垣公園と一体的に利用できる新たな拠点としての整備」、「各種イベント、学校体育から大人の軽スポーツ、レクリエーション、健康増

進、生涯学習等の多様なニーズへの対応」、「屋内で子どもが遊べる場所や、乳幼児を含め休憩ができる場所等の整備」の4つがございます。

- ・このほかに、これまでの利用状況や他都市の状況も踏まえて、新たなホールに求められる機能として、7つを掲げてみました。

1つ目は、「コンベンション機能」です。企業の就職説明会や運動会、研修会、講習会、見本市など、行事や催事会場として活用できる施設

2つ目は、「防災機能」です。指定避難場所として、災害時の一時的な宿泊施設機能を向上させ、災害用トイレや発電機等を整備し、大規模災害に備えた大垣公園との一体的な活用ができる施設

次に、2ページご覧ください。

3つ目は、「子育て支援機能」です。子どもが安心して遊べ、親子が気軽に訪れる、公園と一体的な遊戯広場を新設

4つ目は、「市民活動支援機能」です。市民活動団体の育成や活動を支援するため、気軽に利用できる会議室や交流スペースなどを備えた施設

5つ目は、「健康増進機能」です。高齢化社会において、気軽に体を動かし、適度に汗をかくことができ、人生100年時代の健康な暮らしに寄与する施設

6つ目は、「スポーツ推進機能」です。交通の利便性と新たに各種県大会等の競技基準を満たし、観覧席を備えた施設

7つ目は、「誘客機能」です。中心市街地におけるイベントと一体的に活用するとともに、スポーツ観戦、コンサート鑑賞、講演会の聴講等に活用できる施設

以上、7つの機能を、新たなホールに求められる機能として検討いただきたいと存じます。

- ・3ページをご覧ください。

2の「新大垣城ホールのコンセプト」でございますが、今後、整備を進めていくにあたりまして考えたものでございます。

大垣公園等再整備の基本理念である、「100年先も愛され続ける 大垣のシンボルパーク」をはじめ、基本方針のひとつである「市民が集い『にぎわい』のあふれる公園」を踏まえて、新大垣城ホールに求められる7つの機能を勘案し、世代や立場を問わず、みんなが集うことができる施設とするため、「100年先も愛され続ける みんなが集える施設・インクルーシブ施設」としてみました。

以上が、「新大垣城ホールの機能等」についての説明でございます。

	よろしくお願いいたします。
委員長	・ はい、ありがとうございました。 ・ 現大垣城ホールの利用状況を踏まえ、それから昨年固まりました基本構想の再整備方針に基づき、新大垣城ホールに求められる機能を7つに整理いただきました。 そして基本理念などを踏まえて、新大垣城ホールのコンセプト案ということで3ページにまとめていただいております。 これにつきまして、委員の皆様からご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。
委員	・ ちょっと聞かせていただきたいんですけど、コンベンション機能の中にある運動会とありましたけれど、具体的にはこれ、保育園や通信高校かなと思いますけれども、その辺、具体的にもう少し教えていただけませんか。
事務局	・ 想定しておりますのは、企業の皆様の職場のスポーツ大会でありますとか、運動会でありますとか、あと地域の子ども会の運動会ですとか、そういったものにも使っていただけるようにということを考えております。
委員	・ 今ですと、この近くに保育園なんかもありますけども、使って見えないんですよ。 なぜかという、気候がすごく暑くなって、熱中症とかが心配される。大きさはまだ分からないんですけども、今のあれだったら、保育園の方たちが十分使えるかなと思っていますし、この後申し上げておきたいのは空調も整備してもらいたいなと思っておりますので、いろんな方が使いやすいような施設にしていただければと思ってちょっとお尋ねさせていただきました。
委員長	・ はい、そうですね。 どのタイミングになるか、空調関係をどうするのかということも入ってくるのかなと思います。
委員	・ この後の意見のために整理したいと思って質問させていただきます

が、最初は、現在使われている機能を整理した後に、今回の新大垣城ホールの機能についてお話しされましたので、現状に加えて、折角、建替えるので新たに使える機能は、まずは、新設としっかりと言葉で書かれている子育て支援機能。それとコンベンション機能、防災機能、市民活動支援機能についても若干拡充をされているのと、それぐらいですかね。それとも、健康増進機能、高齢化社会においてというのも新設にあたるのかその辺を教えていただければと思います。

事務局 ・健康増進機能につきましては新設にあたります。今後になってまいりますけれども大垣公園と一体的な活用といったところも踏まえながら内容を検討してまいりたいと考えております。

委員 ・いろんなコンベンション機能といわれる多機能、プラス、スポーツに関しても少し加わるという考えでよろしいでしょうか。

事務局 ・はい、その通りでございます。

委員長 ・機能という言い方で、何が新しく、何が拡充かっていう言い方だと、すぐにお答えが難しいのかもしれないですが、そもそもコンベンションはたまにやっていたけど、機能という形で位置付けていないのかなと思いますね。防災というのは、今までどうですか。あそこが防災の施設としては整備されていたのでしょうか。

事務局 ・大垣城ホールは、現在、指定避難場所ということで指定されておりまして、帰宅困難になった場合などの一時的な宿泊施設という位置付けになっております。

委員長 ・ですから今指定されているけれども、それを前よりしっかりしたものに整えていくという話になるのでしょうか。

・子育て支援、市民活動、健康増進機能というのも、あちこちに、いくつか。チェアーとかね。ちょっと体操できるようにありますけれどもその延長というところだと思います。

・それぞれ充実してこういう形で置いたということで、全体的にはそれなりにお金のかかる事業なので、これまで以上のものを作っていけないといけないというお考えなのかなと思いますけれども。

まあ、そういうことですよね。何か特別、これが全く新しい、という話ではなく、今まで持っていた役割をしっかりと果たせるように、この機会、折角新しいものに建て替えるわけですから、しっかりそれを機能と位置付けてしっかりと備えていきますという、そんな受け止めでよろしいでしょうか。

事務局

・はい。そうでございます。

委員

・はい。わかりました。

委員

- ・ 前回のこの会議、欠席しましたので大変申し訳ないんですが、前回でもう決まったようなことを申し上げるかもしれないんですが、是非、議事録に残していただきたいので、あえて発言をさせていただきます。
- ・ 基本構想の中では、基本方針は1番が「歴史」で、2番が「やすらぎ」で、3番が「にぎわい」と、こういったことで出てきたんですが、今回の機能を見させていただくと、ほとんどが「にぎわい」という形でこの基本方針にどうやってこの機能が出てきたのかな、というふうに私は思わざるを得ないというふうに思っております。
- ・ さらに、この3つの基本方針を1番考えたときには、この大垣城ホール自身を建てないこと、平地のホール、もしくは芝生広場のような形の方が、1番、この3つの基本方針に合わせた形じゃないかな、というふうに私は思っています。
- ・ ただ前回、私は欠席しましたので、前回のときにもうすでに建設は決まっているということであるならば、今日は最初から部長さんの話もありましたとおり、建設ありきの話になっていますので、建設ありきであとはその機能をどうするんだ、ということであるならば、続いて機能のことについて申し上げさせていただきます。
- ・ 機能につきましては、ここに7つありますけれども、一つ一つを全部網羅するようなこの7つの機能を全部埋め込もう、入れ込もうということになると、私はとても大変な機能を持った、お金がかかる施設ができるというふうに思います。先ほどの■■■■のお話のように、空調一つとっても、スポーツでも間に合う、イベントでも間に合う。そういったものですと高さも必要ですし、その高いものの空調をやるとなりますと、ますます大変です。
- ・ 例えばスポーツ。今日は■■■■さんが見えてないので、私も

スポーツ関係の副会長をやっていますので言いますと、ここには「各種県大会の競技基準」というふうに書いてあります。県大会といえますと、県民スポーツ大会もしくは国体予選、またはインターハイ予選というような形の大会を想定してみえるのではないかなというふうに思いますが、県内の飛騨、高山の方から、東濃の方からいろんな選手、監督、コーチ、そういった人たちを交えた大会をここでやるとなると、とてもではないですけども、今の予定されてみえるエリアでは機能的にできないのではないかな、というふうに私は思います。そのいい例が武道館ですけども、大垣にある武道館は国体の時には武道ができませんでした。武道の設備は整っていますが、それに付帯する観客席だとかそれから審判席、そういったものの確保ができずに、結局は武道は違うところでやって、大垣の武道館は2012年の岐阜国体の時には、武道ができずにフェンシングだとかそういったものを行ったということがあります。

- ・ これだけの機能、7つの機能を全部網羅するような形の、例えば板張りの床一つとっても、スポーツにもイベントにも、そして市民や健康、ましてやコンベンションにも使えるような、そんな床を100年先までもというような題目で、私はとても持たないというふうに思います。または持たせたとしても、大変な費用が掛かるのではないかな、というふうに思います。そういったことを考えると、これだけの7つの機能をもっと絞った形で、何かに特化した形のほうが私はいいののではないかなというふうに思います。以上です。

委員長

- ・ はい、次の議題に関わってまいりますけれども、施設の今は機能をご説明させていただきました。そのあとに規模というところで少し具体的な内容も入ってございますので、またその中で、併せてご説明させていただければというふうに考えております。よろしくお願いいたします。

委員

- ・ はい、是非よろしくお願いいたします。
- ・ [REDACTED] さんもお見えになっておりますが、コンサート会場や講演会などをやるためにも、スイトピアセンターの施設をとっても、音楽に適した施設はそういう施設がちゃんとなっていますし、それがスポーツにも全部にも対応するような施設となると本当に大変だと私は思うんですよ。

- ・果たしてそういった施設ができるのかという不安もあります。その辺のところは建築課長さんのほうがよくご存知かもしれませんが、誘客機能の中の一つをとっても、スポーツの県大会ができるような施設も、それも網羅するというような基準を、この機能の中に全部入れて、この7つが全部機能するようなものが本当にできるんでしょうかというように私は率直な疑問で、そうだとするならば、この機能のある程度絞った形でやったほうが、私はもっとその機能に特化した素晴らしいものができるんじゃないかな、というふうに思っております。

事務局

- ・少し先ほどのお話を、補わさせていただきます。
- ・まず、先ほどのテーマに対して、今回の施設に対する機能がどうかというお話があったんですけど。前回お話ししているのは大垣公園全体の話ということで、大垣公園全体を歴史とかいろいろな観点で計画しますよというテーマということで、今回の城ホールがそのまま全てそこに集約されるというわけではないということのご説明と、それから大垣城ホールを新たに作るのではなく、広場のままにしていかがいか、というような意見だったかと思いますが、これは前回の構想の段階でやはり同じようなお話がありまして、現在の公園のエリアに大垣城ホールを作るのではなく、その区域に隣接したようなところで大垣城ホールを計画する中で、今、■■■■委員がおっしゃられるような、今の城ホールの方を空地として、大垣城の眺望であるとか、そういったものを生かしていくということで整理がついていると思います。
- ・あと、多機能のことがいかがかということですが、やはり先ほど申しましたように、機能の中には防災であったりとか、中心市街地でどうしても一定の大空間、雨風をしのげる大空間というのが今の城ホールの方にはありまして、やはりその中で先ほども言いましたように、稼働率もかなり高い状態で、皆さんご利用になられております。確かに目的があまり明確ではないというような、ご指摘に対してはそういう部分も感じられるんですけども、やはり、街中で一定のいろんなことに使える大空間というのが必要なのではと、そのために先ほど言われたスポーツと、それから下足履きで入れるような時という使い分けなんかでは、現在もシートを敷いたりとか、いろんな対応をしながら、全体でいろんな活動ができるような拠点として城ホールの方は検討していきたいというふうに考えておりますので、ご理解いただけたらと思います。

委員長

- ・私は、基本方針のところは、今、部長さんがご説明いただいたとおり、大垣城が核となり「歴史」をつなぐ公園、快適に利用できる「やすらぎ」と、市民が集う「にぎわい」というところですが、また、この会議を進めていく中では、いかに歴史を学びにつなげてというようなどころについては、公園全体の中でいろんなことを議論していただかないといけないでしょうし、それから「やすらぎ」というところも、公園全体の中で。今回は、特に城ホールというところに特化しての整備というふうに理解しております。
- ・ご指摘のこれだけの機能ができるのかということについては、今、部長さんのご回答でもご指摘のとおりというようなお話でしたので、機能の順序付けであるとかというようなコンセンサスを持つのかどうかという話だと思うんですね。そこを少し議論しておかないと、全部これ網羅しますよ、という話で進めていったらどうなのか、ということがあると思いますから。

まあ、後段の話は話として、またこれ進めていく中で、中心は、この建物の機能は何なんだ、ということについては確認していく作業というのはあるのかなと思います。
- ・うちの一つの体育館は、空調が入っておりまして、バレーボールの公式戦ができるぐらいの天井が高くて、そんなの光熱費が大変だろうと思っていたら何とかなっているという状況で。ただ狭いは狭いので、これが広くなるとそういった大変さも出てくるんだろうと思います。
- ・序列という話は、結局コンベンションとスポーツという機能で、やはり床を大事にしないといけないですから、スポーツの床を大事にするんだったら、コンベンションについては、ある程度制限がかかっていくということになるでしょうし、「コンベンションは大事です。スポーツは使えるときに使ってください」ということであるならば、コンベンションの床という扱いになるでしょうから、それもやはり機能の中で、どれが大事ですよということを、コンセンサスはやっていく中で決めていかなきゃいけないのかな、というふうに今ご指摘いただいた、特に体育関係のところから。特に大事なご指摘だと思うんですね。立派なものを作っても、実は国体では使えないというようなそういうことでは困りますので、何を目的にして作るのかということをはっきりとさせて、それにかなうような形でまとめるということで、それはそうかな、と思います。

- ・ただ、しっかりした物を作っていくという中では、例えばスポーツと
いって一本で作るわけにはいかないかな、と思いますので、いろんな
機能は上げておくけれども、そこに序列はしっかりつけていく。そんな
進め方でいかがかと思います。■■■■委員さんもそういったことでよ
ろしいでしょうか。

委員

- ・そういうことで進めていく。序列をつけるということであるならばわ
からなくてはなりませんが、ここに書かれているのは、とりあえず7つが
並列で書かれていますので、どの部分をというのは非常に難しいので
はないかなと思います。
- ・例えば、今のスポーツ推進を各種県大会まで持っていかに、例えば、
障害者スポーツだとか、レクリエーションスポーツだとか、同じスポ
ーツでもそういったものに限ってやるという、スポーツの中の縮小を
考えたりとか、そういったことの機能を少しずつ小さくしていく、と
いう言い方はよくないかもしれませんが、限定したような形でやっ
ていく。逆に、コンベンションや防災というものは一番肝心なところ
だと私は思いますので、こちらの方はどんどん広げられるような、そ
ういった機能という方が、私はこの大垣市のちょうど真ん中にある、
そして広場も活用できる、また一体的なという言葉もありましたので、
そういった点では、イベントやコンベンションや防災に関してはこち
らの方は逆にどんどん広げていく。委員長の序列というお話であれば、
そういった機能をしっかりと充実させて、逆に言えばある程度他の機
能は小さくしていくといえますか、そういった形のほうが、私は並列
の7つよりもいいのではないかなと思います。

委員長

- ・ありがとうございます。確かに序列ということは強すぎるかもしれな
い。どこにポイントを置くかというところですね。
委員の皆さんや市の方から何かご発言ございますでしょうか。

委員

- ・今、■■■■委員がおっしゃったとおり、やはり7つの機能というのは大上
段に構えちゃうと大変なことになっちゃうんで、やはり実際、武道館
が使えなかったんですよね。観客の席数とかが決まっていますよ。後
の中にも国民スポーツ大会とか障がい者スポーツ大会の基準にどうの
こうのって謳ってありましたけれども、これもちょっとどうなのかな
という気がします。

- ・やはりあそこを今、本当に必要なのは何なの、ということをしっかり考えた上で、たまたまこういったのも使えますよ、というぐらいにしておかないと、やはりあれだけの物をまた再度新しく作った場合に、うまく使いこなせなくなっちゃうんじゃないかなと思うんですね。こういったのも使えますよ、ということでいいんですけどもね。
- ・あと、どういうふうな位置付け、これは後で聞こうと思っていたんですけど、中津川のこの東美濃ふれあいセンター。これ多目的アリーナと書いてありますよね。これの辺も参考にされていると思うんですけども、あまり、あれもこれもそれもととなると、どうなのかなという気がします。
- ・この中心街に他に、子育てにしろ、他にしろ、いろいろな施設がありますよね。そういう分散していかないと、ここに一箇所にも何かもとなるとちょっとうまくいかないんじゃないかなと私も思います。

委員長

- ・はい、どうでしょうか。市の方からは何かご発言は。

事務局

- ・先ほどもちょっとお話しさせていただいたように、まずは今、大垣城ホールが担っている機能というのは、ある程度、皆さんが今利用しているものとして考える中で、先ほど言われたように重み付けというのはそれぞれあるかと思うんですけども、その中でまずは土台となる部分は、今、お示ししたようなこの7つぐらいの機能はある程度担っている、ちょっと、子育てに関しては確かに今まではあまり少ない部分だったんですけども、そういったところを肉付けしながらやれることをやっていくというような意図でこの機能というのは選ばせていただいているので、ご理解いただけたらと思います。

委員長

- ・実は、次のお話にすごく関わってしまっていて、この機能を前提にしてどれくらいの大きさという話になっていきますから、その機能のところがクリアされていないと、次の議論がしにくいということがあります。
特に、今ご発言の中で重要なのは、どのレベルの大会が開けるのというところは、規模感にものすごく関わってきますので、ちょっと大変なところかな、というふうには思っています。
- ・ただ、私の感覚でいうと、防災機能とか結構大事じゃないかと。中心市街地にどれくらい人口があるかというところもあるかもしれません

が、まあ比較的にマンションも多い場所でもありますし、ある程度そういうところは期待されるでしょうということはあるかなと思います。

- ・それから、子育て支援機能は新しくということですがけれども、これが多分、私の理解では、今この夏の暑さ、日照りの中では、今までの公園ですと、夏になると、人が、親子連れもちょっと夏枯れ状態で、とても公園でとはならないので、そういう時、あるいは雨が降った時にもお使いいただける部分も担保していく、というような受け止めでおります。
- ・健康増進はそれほど。ただ入れたのかなというくらいのところでありましてけれども、今言ったようなところが比較的コンセンサスさせやすいところで、一番の問題はスポーツ推進機能と言った時にどの大会レベルをとということですよね。ここでは各種県大会等の協議基準を満たし、観覧席を備えた施設ということになっています。これについて議論するということ。これについて疑義がある状態ですと、なかなか先の議論が進みにくいということですね。
- ・市の方針としてはこれが原案ということですよ。

事務局

- ・はい、そうでございます。

委員長

- ・そういうことなんですけれども、ご発言のあった委員の皆さん、これを前提に先の議論をとりあえず進めさせていただいてよろしいでしょうか。その先の議論で、また具体的な規模感の話が出てきた時に、本当にこれでいいのか、これが必要かということで、ちょっと具体的に合わせて議論するということ。
- ・では、これを原案にして先に進めるということで、これを前提としたときに施設規模がどうなるかという形でご説明をいただきたいと思います。
- ・議題の(2)「新大垣城ホールの施設規模等」についてご説明をお願いします。

事務局

- ・資料No.2、「新大垣城ホールの施設規模等について（案）」に基づきまして、ご説明させていただきます。
- ・はじめに、1の「現大垣城ホールの施設規模」でございますけれども、建築面積は3千665.8平方メートルで、床面積は5千510.36平方メートル

でございます。

主な部屋面積につきましては、管理棟1階は、玄関ホールや事務室など409平方メートル。2階は会議室や研修室など563平方メートル。3階は、多目的室や更衣室など465平方メートル。管理棟全体では1千437平方メートルでございます。

ホール棟1階は大ホールやステージなど3千52平方メートル。2階は観覧席や更衣室など1千21平方メートル。ホール棟全体では4千73平方メートルとなっております。

- ・ここで、現大垣城ホールの内部を写真でご紹介したいと思います。

再度、正面のモニターをご覧くださいと思います。

こちらは、管理棟1階の玄関ホールでございます。こちらは、イベント時の受付や、展示会場などとしても利用されております。上の写真でいいますと、右側が大ホールの入り口となりますが、その間には階段が設けられているという状況でございます。

こちらは、ホール棟1階、大ホールをステージ側から出入口方向に向かって撮った写真でございます。床には各競技のコートの線が引かれ、ホール両袖には固定式の観覧席が設けられています。天井はアーチ形の形状をしています。

こちらは、常設のステージの写真になります。玄関ホールから入りまして、正面に配置されております。市民活動団体や生涯学習の発表、各種イベントなどで利用されております。

こちらは、ホール棟2階、観覧席でございます。ベンチ式で、ブロックごとにシートの色が分けられています。左側の図面上に掲載した写真の方でございますが、これは観覧席の最上部にございます通路の写真でございます。

こちらは、ホール棟1階、通路と第二会議室の写真でございます。先ほどご覧いただきました観覧席の下に設けられているものでございます。

こちらは、管理棟2階、第1会議室と研修室です。下の写真が研修室でございますが、研修室には、卓球台が7台置かれておりまして、主に卓球場として利用されております。

こちらは、管理棟3階、多目的室と更衣室です。上の写真が多目的室になりますが、ジャズダンスや健康体操などに利用されております。

以上、簡単ではございますが、現大垣城ホールの内部をご紹介させていただきました。

それでは、資料の2ページをご覧ください。

- ・2の「新大垣城ホールの施設規模等」につきましては、新ホールに求められる機能などを踏まえまして、より具体的に施設規模等について検討するものでございます。

はじめに、①の「多機能ホール」についてでございます。

現在の大ホールは、スポーツ大会や様々なイベント会場などとして多くの方々に利用され、面積が最も大きくなっていますが、新ホールにおいても床面積の多くを占めることになります。

- ・新たなホールは、コンベンションや誘客機能として、県内における企業説明会や催事会場として使用できる施設のアリーナ面積の平均、約1千800平方メートル程度を確保して、コンベンション機能を有する西濃地域唯一の施設を目指し、十万石まつりや、おおがきマラソン等、集客力の高い中心市街地におけるイベントと一体的に活用し、イベントのもつ魅力を高める、そういった施設とする。
- ・スポーツ推進機能といたしましては、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会競技施設基準や、競技団体への聞き取り結果などを踏まえまして、円滑な大会運営等につながりますよう配慮してまいります。下の表でございますけれども、県内のコンベンション施設として、アリーナがございます6施設の現況を掲載しておりまして、この床面積の平均が約1千800平方メートル、となっております。

- ・3ページをご覧ください。

天井高につきましては、現大ホールと同程度とし、多様なニーズに応えるため、大空間を確保。ステージは、市民活動や生涯学習の成果発表の場、イベントなどに使用するステージを設置する。その他では、利用者の利便性向上のため、空調整備を。災害時の一時的な宿泊施設機能を維持するために必要な設備機器等を。また、各種イベント等を想定し、外部から大型器具などを搬入するのに必要なスペース、搬入口を計画する、としております。

- ・次に、4ページをご覧ください。

②の観覧席につきましては、座席の間口を現在の1人当たり416ミリから500ミリに増やし、座席数は、現在の1千180席を確保する。また、新たに車いす席を設け、多機能ホール全体を見渡すことができる2階に配置することによりまして、利用者の満足度を高め、また、観覧席の下の空間を有効活用して、1階ホール周囲に、器具庫や諸室を計画的に配置する、としております。

その下の表でございますが、市内の他施設の現況といたしまして、施設ごとの競技場面積、天井高、観覧席数、座席間口を掲載しております。表の一番下に、現大垣城ホールの欄がございますけれども、天井高をご覧いただきますと、12.6メートル以上となっております。

- ・次に、5ページをご覧ください。

③の会議室・事務室等につきましては、会議室は、市民活動を支援する交流スペース、競技大会時の役員控室などとしても利用できるように、現在と同様、大・中・小の計3室程度を。多目的室は、軽スポーツや作品展示の会場等に利用できる、現在の多目的室に加えまして、先ほどご覧いただきました卓球利用率の高い研修室も多目的室として、同規模2室程度を。事務室につきましては、来館者への対応を優先的に考えまして、ロビーから目につきやすく、かつ、施設管理者からの見通しがきく配置、としております。屋内遊戯広場につきましては、子どもが安心して遊ぶことができ、年齢層別の遊びの空間を確保するため、新たな機能として計画し、親子で一緒に遊んだり、子どもの遊びを保護者が見守ったりすることができる、安全に配慮した施設とする、としております。

- ・次に、6ページをご覧ください。

④のその他施設につきましては、倉庫・器具庫は、新たに防災備蓄倉庫を配置し、防災機能を拡充。倉庫は、床養生シートや、折り畳み椅子等が収納できる規模を分散して配置。器具庫は、体操器具等が収納できる規模とし、諸室とともに多機能ホール周囲に配置。機械室等は、新たに設ける空調設備機器などを配置する機械室を計画し、災害時でも機能を維持するために必要な設備機器を配置する発電機室や燃料庫などを新設する、としております。廊下・階段等は、ユニバーサルデザインに配慮し、可能な限り段差のない計画とするとともに、適切にエレベーターを設置し、避難経路としても利用する廊下・階段は、建築基準法等を遵守するとともに、バランスよく配置し、安全に安心して利用できる施設とする、としております。

- ・7ページをご覧ください。

その他の、主要出入口につきましては、回遊性の向上を考慮いたしまして、駅通りの歩行者から認識しやすい位置に。その他出入口は、競技大会や各種イベント、芝生広場や駅通りとの一体的利用に配慮しまして、バランスよく計画。競技大会等へ対応するため、更衣室や新たに医務室を設置するとともに、医務室は、多機能ホールの見通しがき

く配置とし、役員室や放送室を兼ねて計画する、としております。

トイレは、災害時の対応も考慮に入れ、適切に計画し、多機能便所は、車いす使用者の方が安心して利用できる広さや手すりなどに加えて、オストメイト対応の設備、おむつ替えシート、ベビーチェアなどを備えることで、誰でも安心して利用できる 設備とする、としております。

- ・次に、8ページをご覧ください。

新大垣城ホールの床面積につきましては、導入する施設の必要となる床面積を見込んだものでございます。

1のホール施設は、約3千平方メートルで、このうち、多機能ホールは、現施設の約1.2倍の約1千800平方メートル。ステージ、観覧席は、新多機能ホールの幅に合わせ、約1.2倍程度。2の会議室・事務室等も、約1.2倍程度の約1千平方メートル。3のその他施設は、約4千500平方メートルで、このうち、倉庫・器具庫が約1.2倍程度の約500平方メートル。機械室は、災害対応の発電機室や燃料庫と、空調設備を配置するための機械室を想定いたしまして、約500平方メートル。廊下・階段等は、建築基準法や県の条例を踏まえ、廊下・階段幅を拡充することにより、約2倍程度の約2千800平方メートル。その他は、ホールに合わせ約1.2倍程度の約700平方メートル。合計で現施設の約1.5倍の約8千500平方メートルを、新たなホールに必要な面積と見込んだものでございます。以上が、「新大垣城ホールの施設規模等」のうち、「新大垣城ホールの床面積」までの説明でございます。よろしくお願いいたします。

委員長

- ・はい、ただいま床面積のところまでご説明いただきました。これにつきましてご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

委員

- ・8ページのところに、常設のステージと記載しておりますが、多目的に活用しようと思った場合に、果たして常設のステージがこれから必要なのかというところだと思いますが、今までも集会とかあれば、我々も講演会等をやるんですけれども、演台があれば十分。移動式の。その分を、先ほど■■■■委員がおっしゃったように、もう少し面積を増やして、たとえ1面でも多くのコートが取れるような。今、便利なステージもございますので、会議所側から言えば、商業的なイベントについては今、常設よりも真ん中に置いた方がいいとか、それは商業ベースでやられることですので、主催者側にお任せすればいいことであるの

で、今時400平方メートルも常設ステージがいるのか。もし、持たれるのであれば移動式の演台みたいなものがあれば、その目的によってお貸しするということが防災面にも良いのではないかと思います。

委員長

- ・はい、ありがとうございました。
ただいま、■■■■委員さんの方からは、常設のステージは不要ではないかとご意見がございました。他にいかがでしょうか。

委員

- ・私も■■■■さんと同じで、いろんな使い方で、おっしゃられる通り真ん中に設置する場合もあるでしょうし、ステージは仮設でよいと思います。
- ・あと、もう一つ観覧席ですが、観覧席数は同じで広がることによって新設は広がるというのですが、現状、先ほどの■■■■さんのお話にも関わってくるのですが、どのレベルでのスポーツ大会を行うのかによって、観覧席の数って決められていくのだと思うんですが。本当に市が考えているような体育施設でなければ。確かに体育施設って大垣市には総合体育館がやはりメインだと思われますので、そこまで本当に城ホールとしてのスポーツ機能が大会を行うまで必要かということを考えた場合は、観覧席がそれほどいらないのではないかと思いますので、その辺もスポーツ機能をどこまで、最初の市の構成よりも縮小するのであればそこも考えていただければと思っております。

委員長

- ・はい。今ステージと観覧席についてご質問がでています。
これについて市の方からお答えいただきたいですし、それから多機能ホール。これが1,800ということですが、これを決めるにあたっては、おそらく競技団体さんの方ともお話しされて、どの競技に対してどれくらいの広さが必要だからということで決めているのではないかと想像するのですが、そういったことについてご説明いただければと思います。

事務局

- ・ステージの方のお話と観覧席の方のお話を頂戴いたしましたので、観覧席の1,180というのは、現在の大垣城ホールの観覧席数でございます。ステージもまた常設のものが現ホールにございます。その点、他市のいわゆるアリーナ型のこういったホールの状況を、情報収集また調査をさせていただいて、できれば、次回の会議でお示しをさせてい

ただいて、またご検討をいただければと考えております。

委員長

- ・まず、ステージについては、他所も調べてということですね。おそらく常設のステージをつけると、立派な幕もつけなくてはいけなくて、そのためには天井高も高くなっていて非常にコスト高が予想されますので、これについては調べていただいて、本当に必要かということを検討させていただきたいと思います。観覧席についてはいかがですか。

事務局

- ・競技団体の方からは、以前に要望等を聞いております。実際の西濃大会、県大会をやっているのは、卓球、バトミントン、フェンシング等が大会をやっているんですけれども、そういったところから要望があるのは空調設備ですとか、あとコート面積ですとかいろいろ要望をいただいております。
今回、新しい多機能ホールでは、こういった先ほどの国体基準等に基づいたコートも確保できると考えております。
- ・観覧席については、それぞれ、卓球、バトミントン、バレーボール、フェンシング等、特に基準はないということで、規模によって何席必要だとかという基準はないと伺っております。
- ・先ほど■■■■委員からありました、いろんな大会に伴う諸室の関係ですが、そういった関係も競技団体と調整して決めていきたいと考えております。

委員長

- ・観覧席についての回答は、団体の方からは特に規定がないということですね。そうすると、今回の観覧席の数はどういう基準で決められたのか、という事になってしまうんですが。

事務局

- ・現在1,180席がありますので、同程度の席は確保したいと考えております。あと、イベントとかで大きな大会があると同程度必要になってくると思っておりますので、また実績に基づいて想定をしております。

委員

- ・1,180席。私がホールでイベントをやるときにはそれほど利用されている感じは。アリーナ中心なので。観客席は、どちらかと言うとスポーツ大会とかそういった時に使われていると思うのですが。足りないくらいの、多すぎもせずというレベルでいいですかね。あまりそんなに

	満席になっているイメージはないですが。そのあたりはどうなんですかね。
委員	・以前、私たちは、綱引き大会で長年あの会場を使わせていただいて、やってきました。イメージしていただくとわかるんですけど、大垣市22校区の、選手と応援の方を入れるとほぼ満席というか、そういう感じでは使わせていただいていた。 ・コロナ前まで使わせていただく中では、応援席の場所取りがありましたので、こちらで観客席を、何々校区、何々校区ということで分けさせていただいて、座っていただくと、いい感じの満席というイメージが強いです。 あと、市民総体の卓球大会に参加させていただいた時も、選手と応援でほぼ満席でした。参考になるなら。
委員長	・ですから満杯になるイベントはいくつかあるということですね。 これも次回、大体いくつぐらいのイベントで満杯になっているかということでご報告いただけたらと思います。 ・ただ一つでもそういうイベントがあると、じゃあ規模を縮小しようとは、なかなか決めにくいというところはあるかもしれませんが、実態把握して、折角おっしゃっていただいたけれども、それがもし、年に1回だったら、それはちょっともっと小さくてもいいんじゃないかという話もできるかもしれませんし、いくつもいくつもそのようなイベントがありますよ、ということでしたら、ここだけで2つは、今、お話しがありましたのでいくつぐらいあるのかということで、次回まで調べてご報告いただきたいと思います。 ・アリーナの広さですけども、これは卓球とフェンシングとバドミントンの3団体の方からの要望の広さでいうとこれぐらいの広さになるということですね。この3団体については、他の施設はないと。ここがメインだということによろしいでしょうか。 はい。よろしいんですね。
事務局	・今の卓球、バドミントン、フェンシングが城ホールを使って大会をやっているということです。
委員長	・ですから、その3団体の部分については、城ホールの機能を維持してい

かなくتهはいけないということですか。

事務局

- ・そうですね。はい。引き続き維持していくということです。大会等で使っていくことを想定しています。

委員

- ・資料1の1のところ、先ほど■■■さんがおっしゃった部分と意見が連動しますけれども、求められる機能のところの一番のところにコンベンション機能というのが入っております。コンベンションって幅が広いんですよね。今、イベントの話も出ましたから、スポーツ以外の部分でこれを使うというイベント、あるいはコンベンションで使うという中で、ここに書いてあるものだけでいいのかどうか。ここに書いてあるものだけであれば今のお話のまま進めていただければいいと思うんですけれども、外客、誘客、外からコンベンションで来ていただいて、観光振興の一翼を担おうという発想でいくと、コンベンション自体一つ一つ特性があります。先生がお見えになりますから、いろんな学会を、例えば呼ぼうと思いますとメイン会場に全国から集めるのか、東海地区で集めるのか、県内で集めるのかというような部分もありますし、分科会もありますから、そうすると会議の時は、あるいは国際会議まで呼ぼうと思うと同時に通訳の施設とかあります。この辺りを個々に大会を分析。僕も後から調べますけれども、どういう大会を誘致できるような形態にするかということを明確にしないといけないのではないかと、これは今日ご議論いただくのは構いませんけれども、結論はでないと思います。多面的な捉えが必要だと思いますので、専門の先生がいらっしゃいますから、その辺のご意見を是非とも承りたいと思いますし、■■■に専門的なご意見をこの辺りについてお聞かせいただければと思います。

副委員長

- ・後回しにさせていただきます。今回の大垣公園等再整備基本計画市民検討委員会で、やはり市民方がどういうふうにしたいかということで、委員も私もどちらかというと取りまとめというか、そういう立場なのかなあと感じていましたので。コンベンションの話も後ほど。じゃないと、大学の先生の悪い癖でとっても長くしゃべりそうなので。まずは、皆様のご意見を。

委員長

- ・コンベンションという言葉は書いてあるという程度でいいんじゃない

ですか。コンベンションというよりは、ここに書いてある企業の就職説明会とか運動会、研修会、そういう話ですよ。

実際問題として、大垣市で国際会議を開けるかということ、現状開ける場所もないですし、開く方向性にもなかなか難しいので。

うちの大学で1,000人規模の学会を誘致したことがあります。やろうと思えば今でもできると思いますけれども、そういうのはそれぞれの施設でやっていただければいいので、ここで言われているコンベンションというのは、ここに書いてあるようなものというご理解で、今ご指摘いただいた順番については、よくよく検討させていただくということかなと思います。

委員

- ・追加になりますけれども。この場所というのは、公共交通を使ってくる場合は、非常にいいものですから、そういう点では市内の行事だけでなく、幅広く捉える必要があると僕は思いますので、この辺りはもうちょっと議論を進めながら問題を深掘りする必要があると思いますので、敢えてその部分のお話をしておきたいと思います。よろしくお願いします。

委員

- ・屋内遊戯広場を作るということで、会議室、事務室等の面積の中にその部分が入ってくるかと思います。お伺いしたいのですけれども、会議室、事務室は広くしますよ、ということをご説明いただきましたけれども、会議室というのは、今現在どのくらい利用いただいていて、今後、どのイベントに会議室というのが使用されていくのかというのが、私にはちょっとわからないので、教えていただきたい事と、やはり子どもが分かりやすく、ここに遊ぶところがあるんだなということが、公園から見えるということが一番必須になってくるかなと思いますので、その辺りも踏まえて少し教えていただけたらと思います。よろしくお願いします。
- ・まずは現在の会議室は、どの程度ご利用いただいていて、今後、新しい施設になった時に、どのタイミングで会議室は使われていくのか、どういう展開になっていくのかな、ということが1点と、同じフロアの中で子どもの屋内遊戯広場ができるということで、子どもにとっても、そして保護者にとってもありがたいです。先ほど委員長さんがおっしゃるように、暑い、寒い、雨が降るとかいろんな中で屋内遊戯室というのは、日本国内どこでもできております。そして、小学生が自由に

遊べる施設が大垣市は少ないので、そういう部分も広げていただけたらと思っております。そんなに広くなくても外がありますので大丈夫なんですけど、ちょっと雨が降ったりとか、ちょっとしんどいなとか、ちょっと中で休憩しながらこちらでも少し遊べたらいいなという施設がどの程度の面積が確保できていくのか。会議室も含めて1,000平方メートルというふうにおっしゃってますので、その辺りもこれからだとは思いますが、もし、構想がおありでしたら、教えていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

- 事務局
- ・先に屋内遊戯広場についてでございます。お話をいただいたように、夏ですと大変暑いですし、寒さもございます。また急な雨も。大垣公園はご存知のとおり、屋外に遊戯広場がございます。そういった公園と屋内、屋外を行き来できるようなそんな施設にしていきたいというふうに考えております。
 - ・具体的な面積につきましては、これからというところでございます。機能として持たせていきたいということで考えております。

- 委員長
- ・ご質問はこの8ページの中の面積の中に入っているのかいないのか、どこに入っているのかということだと思いますけれども。

- 事務局
- ・会議室等の中に入っております。

- 事務局
- ・会議室は第1、第2、第3とありますけれども、第1、第2は年間1,000人程度利用をしております。主な利用といいますと大会とかの会議室ですとか、いろんなイベント等の準備する会場ですとか、そういった部分があるかと思います。

- 委員長
- ・たぶん一般的な会議室ではなくて、主催者側の打ち合わせ場所、特にスポーツの大会の時は指導者とか団体の幹部の人が、必ずこの部屋でずっと大会中、話し合いをしているということがあるので、必ず会議室は必要になります。おそらくそういう内容かと思います。

- 委員
- ・先走ったイメージで話すかもしれませんが、現状、我々は、城ホールの会議室は使わないのですが、駅通りには実は市の施設があって、多目的イベントハウスですけれども、会議なんかはあそこを使っ

ていて、あといろんな商店街の研修会とかも利用させていただいているので、そういう機能をもし含めるイメージがあるのであれば、必要じゃないかなと。ちょっと広がっている理由が分かる気がします。

委員長

- ・今、外にある機能をどれだけ加えるのかというのは、また現実的な問題としてですね、あると思いますので、先に行ってから話にさせていただくということかなと思います。
- ・この一番メインの話は、多機能ホールが1,800という広さですね。これでよろしいかというところです。それと次の話に関わるわけですが、廊下と階段等がグッと広がっているのは、これ、階層ができるからですよ。なければ、狭くできるわけですがけれども、階層をつけることによって階段であるとか廊下の面積がグッと増えるということじゃないかなと理解しているんですけど。パッと見、大きくなっているなという印象にはなると思うんですけども、それぞれ必然性があってということのご説明だと思いますが。ご説明いただいたようなことでこの面積になってきているんですけども。

委員

- ・私もいろいろと考えるんですけど、今委員長がおっしゃったように、この1,800平方メートルというのを確保し、と書いてありますが、これだけの機能をやるのに、この1,800平方メートルが適当なのかどうかというのは私もよく分かりません。
- ・ただ、その下に西濃地域唯一の施設を目指すと書いてあるんですね。そして、その下には各県内のコンベンション施設の平方メートル数が書いてあります。
例えば5番目の「東美濃ふれあいセンター」中津川ですけれども、2,320平方メートルという中で、これは中津川市にあるのはあるんでしょうけれども、東美濃、東濃地方を代表して中津川市にあって東濃地域の人たちが全部集まれるような、そういう施設だと思うんですね。
やはりこの大垣も、西濃の中で中心的な都市として西濃34万都市の様々なイベントや先ほど出てきたスポーツ、こういったものができる施設として。先ほどの国体とかはとっても無理だと、私は思うんですけど、国民スポーツ大会とか書いてありますけど無理だとは思いますが、せめて西濃地域の西濃大会、今、西濃体協というのがあるんですけども、西濃体協の中で、いろんなスポーツを西濃地域でやっています。ですから、そういったものだけでもできるようなことを大垣市の予算

ではありますけども、西濃一円の人々を考えた多目的ホールの施設にしないと私はダメなんじゃないかな。こういうふうに思います。

- ・それが、この5番の東美濃ふれあいセンターが意味していることではないかなと私は感じますので、その1,800平方メートルが委員長はどうだとおっしゃっていましたが、私も正直分かりません。分かりませんが、私の考える大垣城ホール、多目的ホールというのは、西濃地域全体を網羅するようなそういう施設でないと私はダメじゃないかというふうに思います。以上です。

委員長

- ・はい、委員の皆さんから積極的にご発言いただいて、どうも、完全にまとめきって終われそうな雰囲気ではないので、いろいろなご意見を頂戴して終わるといっても、ある程度着地点として意識し始めましたので、いろいろなご意見を頂戴できればと思います。

委員

- ・先ほどの■■■■委員さんの子どもの屋内遊戯広場、5ページ目の部分ですが、非常にいい施設だなと思います。公園とこの屋内を行ったり来たりとする中で。でも、一方でこの新しい城ホールはいろんな機能を持たせるといふ議論を今しているんですけど。そうなってくると、この文書にも書いてある、安全に配慮した施設としますということで、いろんな人が出入りする中で、こういうお子さんの遊び場っていうのは、逆に危ないのではないかな、危なくなるのではないかなと思うんですけども、もしご意見いただければと思います。

例えば、大垣市にはそういうお子さんに特化した施設っていうのはあるんですよね。それがこの新しい城ホールの中に一室として設けられることっていうのは、確かに動線からすればいいかなと思うんですけども、どうかなということで、■■■■委員の、■■■■委員の、もしご意見が聞けたらなというふうに思っているのと。大垣市さんからでもいいんですけども。

委員長

- ・■■■■委員さんお願いします。

委員

- ・質問ありがとうございます。これから大垣市の未来を考えると、子どもの声がこだまするという施設は大切だと私も思っております。子どもの声がしない市というのは、寂しい市になっていきますし、大垣市の場合は、屋内で遊べる施設として、スイトピアセンターの中にサ

イエンスプラザや水のパビリオン、江東地区センターこどもの城が少しですがあります。その他には有料のショッピングセンターに子どもの遊びの施設があります。

- ・ですから、広くはなくてもいいんです。ただ、雨露しのげて。そして、外で日が当たって大変なんです。日が当たらない方がいい子もいたりとか、いろんなお子さんがいらっしゃって、出たり入ったり、外と中と行き来できる、子どもの空間というのは、これからの大垣市にとってシンボルになっていくと思いますので、是非、少しでもいいから残していただきたいし、そういう場所を確保していただきたいと思います。
- ・これが多分大垣市の、「ここに来たら大垣は公園でも遊べて、いろんなイベントもやっていて、子どもも自由に遊べる場所がある、いい場所だね」という形で、他市の人にも理解していただける施設になっていくと思います。
- ・小学生の子は、多分この施設を見たらちょっと遊んでいきます。「でも、外が好きだし」というような形で、行ったり来たりしながらすごく楽しくて、「今日も楽しかったね」と帰って行ける施設になっていくのではないかなと。
- ・安全安心は、大人の見守りの姿勢だと思います。私たち大人が温かい目で子どもたちを見守っていただきたいです。「子どもというのはそういうものだ」「叫んだり騒いだりするものだ」というふうに、温かい目で皆さんが見守っていただく、そういう市民が増えていただくことが、私は大垣が子育てしやすいまちになると信じております。ぜひ温かい目で子育ての施設を作ってください。よろしくお願いいたします。

委員

- ・ご説明ありがとうございます。非常によく分かりました。決して新しい城ホールの中に、施設が不要だということを申し上げているわけではなくて、いろんな人が出入りするの、私は安全性が気になったという部分で申し上げただけですので、そこは誤解のないようにお願いいたします。ありがとうございました。

委員長

- ・その観点についてはどうですか。不特定多数のイベント的な会場の中で。

委員

- ・子どもたちは公園デビューというのがあるんですね。公園というのは

各町にあるので、小さい公園からデビューしているんです。それが少し大きくなっていくと、どんどん広い公園を子どもたちは目指していくので、それが、大垣城の近くの公園にいくといいんですけれども、現状はボルダリングが他の町、例えば大野町でオープンしたよって聞くと、お母さんたちは大垣じゃなくて、そういったところに遊びに行っちゃうんですね。今回のように、大垣公園に新しくいろいろな施設ができるようであれば、本当にお子さんたちの安全というのはすごく大事だと思うんですけど、大垣にも子どもたちを自由に遊ばせる、こんないいところがあるんだぞ、というのを分かってもらえますし、いろいろな所で子育て日本一って大垣は言っていますので、そういうのを足していただいて、もっともっと大垣城寄りに市民がたくさん集まるようになるといいかなと、■■■■といつもお話ししているんです。

- ・それこそ、犯罪とかいろんなことは、どこにでも起こり得ることがあると思うので、やはりそれは大人の責任とか本人が気をつけたりとかということになってくると思います。だから、お互いに自分たちの身は自分たちで守るということを子どもたちにも教えながら、子育てしていくといいのかな、と常々思っておりますので、私個人の意見ですけども、子どもは遊ばせた方がいいと思います

委員長

- ・はい、ありがとうございました。

委員

- ・先ほど多目的ホールのステージは、いらないんじゃないかな、というお話がありまして、その部分、私も同感です。あえてそういうステージを設ける必要があるかな、という気がするんですよ。スイトピアセンターとかいろんなところにそういったのがありますので。それと観覧席もですね。これ作られたのは、今の大垣城のイメージをそのまま。なんか動いている感じなんですよね。さらじゃないんですよ。どう建てていこうという感じで来ているのではなくて、観覧席も固定というイメージがされていますよね。費用的にもかかると思うんですけども、移動というか、収納ができる椅子というか、そういうのを工夫されてやるのも一つの方法かなと思うんですよ。そうすると、ずっと平で、防災の時でも広く使えるし、そういった何かこれを見ますと、今ある大垣城ホールをどうしていこうかというぐらいだから、もっと大胆に考えていただくといいのかな、という思いがあります。
- ・それと先ほど、■■■■委員がおっしゃっていた、西濃圏域の中心があり

ます。確かにそうなんですけども、やはり作るには負担をしてもらわないといけないと思うんですね。これは大垣だけが持つべきではないと思いますし、各市町が持つのは大変だと思いますからね。皆さんに利用してもらったたら、今の消防とかあるいはゴミとか広域でやっていますよね。ああいう考えでいかないと、という思いがしました。

委員長

- ・ ■■■ 委員さんもよくご存じだと思うんですけども、今使ってらっしゃる方がいて、今やっていることがあるからそれができなくなりますよ、という案は作りにくいというのが大前提にあると思うので、どうしても今のものを再現するような案になってきていると。私もすごいそういう印象を持っていて、ご説明も、今がこうです。こうです。と説明されると、結局、今のものをバージョンアップして立て直すという。そういう案に見えてしまって、それでいいのかなという気もやはりするにはするところもありますので、見直せるものは見直した方がいいかもしれない。
- ・ 確かにあれですね。観覧席は可能性がありますか。平場で作っておいて、あとから。それこそ、そんなにしっかりした椅子じゃなくてもいいわけですよね。スポーツ大会の観覧席とか、綱引き大会の観覧席が、すごい立派な観覧席である必要はないと思うんです。ちょっとご検討していただける余地はあるかなと思いますので。他いかがでしょうか。

委員

- ・ 議論をいろいろ聞いておりますと、冒頭、 ■■■ 委員のおっしゃったように、じゃあ、何が目的で作るのと。スポーツなの。交流なの。子育てなの。やっぱりその優先順位を決めないことにはなかなか議論が進まないんじゃないかなと。例えば、スポーツであれば先ほどおっしゃったように子どもに夢を持たせる。例えばバドミントン、卓球、フェンシング、これを常時やっているのであれば、例えばラグビーは花園とか、野球は甲子園とかやっぱり、そういう子どもたちがロマンを持てる地域づくりを、スポーツという柱の中でこの大垣城ホールのあり方を考えていく必要があると思いますし、我々商工会議所としては、やはり、交流人口の拡大とかそういうことを考えるのであれば、コンベンションホール、ある程度の会議とか展示会とかできるようなところにさせていただいて、音響も充実させていただいて、ある程度の規模のコンサートなんかができる。隣の芝生広場で屋台村ができるといいな

という構想は勝手に立てれるんですけれども、冒頭、 委員がおっしゃるようにコンセプトとして何を重視するの、ということを優先順位を決めていかないと、なかなかあれもこれもというような、よろず屋さんになってしまつては、それこそ大垣公園一体を全部そういったコンベンションホールにしましょうという議論になっちゃうので、なかなか難しいのではないかな。

- ・今聞いている、皆さんが言われるようなことはごもつともなことで、そうすると中途半端な機能になってしまつて、大きなホールだったらソフトピアジャパンの3階に展示場があるじゃないかとか、そういったことになってくと思うので。それと周辺の駐車場対策とかもいろんな条件、目的によって違うと思うので。私は優先順位を決めないことにはなかなか難しいのではないかな。好きなことを言ってくださいという議論であれば、それはそれでいいんですけれども、そういうような感想を持ちました。

委員長

- ・優先順位をはっきりさせた方がいいだろう、というご意見で、これも最初から頂戴しているご意見でございますので、それは深く検討していただくということで引き取りたいと思います。他にご質問はございますか。

委員

- ・今までの話と若干また繰り返したいな部分もあるかもしれないんですけれども、面積について一応この多機能ホールは1,800で、トータル8,500でというところが一つ。この規模でどうなんだという大まかな方針を決めたいというお話の中で、一方で、例えば屋内遊戯場についてはまだ細かく決めていませんと。数字は、イメージも含めて出ていませんで検討しますというお話なんですけど、施設を見たときに、今の施設はなぞっているという話の中で読んだときに、新たな機能という言葉をしっかり書いてあるのは屋内遊戯場の部分だなと。これはちょっと新しい目玉だったな、というふうに思いましたのであえて申し上げるんですが、そうすると8ページの2番のところで会議室・事務室等が765から1,000で1.2倍になります。ここに屋内遊戯場が含まれていますというご説明で、他の多機能ホールやステージもきちんと理由があるものもないものも含めてざっくり1.2倍、1.2倍というふうに書いてある中で、遊戯場を入れて1.2倍という雑ばくな理解だと、会議室・事務室は現状でこの増えた200いくつが遊戯場のイメージでいいのかな。

私はその200何平方メートルで皆さんが求められている屋内遊戯場という広さがきちんと確保できるのかというのが素人なので分かりませんが、他のところはざっくり1.2倍のスケールアップをしているんですけど、ここに遊戯場を入れるとしたら、ここについては1つ技能がプラスになるので、2番は残りの会議室・事務室というのは現状サイズプラス遊戯場で1.2になっているという理解なんではないでしょうか。それで新たな1つの目玉である、子どものための屋内遊戯場というのは、まだ細かく数字はこれから決めるでしょうけども十分なのかというところは、これを見ている中でいうと、私は子どものための屋内遊戯場というのは、今度の新しい大垣公園の中でとても大事なことのようには思ったものですから、まだ、これから決めることでは言いながら、なんとなく大まかでイメージづくりとしてその部分というのは市の方でどんなふうに確定でないまでもイメージを持っていたいただいているのかというのを教えていただきたいと思います。

事務局

・今、ご質問いただきました、現在の会議室の面積が765平方メートルで、差し引きすると235平方メートルが子育て施設ではないかということでございますが、今は、この後でできます建設候補地を決めるための規模感を想定するために、今この数字を使わせていただいています。まさにその数字がズバリかとおっしゃられると、それはズバリではありません。ただ、そのくらいの規模、例えば駅前の「キッズピアおおがき」ですと600平方メートルありますので、その約半分くらいという感覚は、私どもでは持っております。何度も申し上げますが、まだ決まっておりますので、今こういうお話をさせていただいて、もうちょっと大きい方がいいんじゃないかというような、ご意見を頂戴したいと考えております。是非このようなお話を聞かせていただき、持ち帰りをさせていただいて、次回必ず他市と比べて、さらには大垣市の現状をしっかりとご説明できる資料を作ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

委員長

・さりとて、皆さんのご意見を伺ってどんどん大きくしていったら、それでいいのかどうか。個人的には私は、建物はなるべく小さくという方が、ゆくゆく人口減少の世の中で皆さんのご負担になる。自分も負担する側ですけれども、やはり自ずと総額の制限を考えていかなきゃいけない話だと思いますから、どれを取ってどれを諦めるのかって

うことを考えていかなきゃいけないことになるかと思います。これはお願いしたいですというようなことは、また今日を超えても事務局の方にお伝えいただきながら、ということになるかと思います。

- ・よろしいでしょうか。ちょっと時間が経っておりますので、今の議論の熟度を持って次のフロアの話ができるのか、というのが若干疑問はあるのですが、一応踏まえてこのぐらいの広さというお話の中で、これではただ平方メートルがあるだけですから、なんのイメージも沸いてきませんので、これをある建物としていくと、こういうことになりますというご説明として、次の階層についてというご説明は受けたいと思います。前提が崩れてしまえばこの議論も崩れるわけですが、今の平方メートル感の中でこれを建物として建てていくと、こういう形だということで理解を深める意味でも必要だと思いますので、ご説明をお願いいたします。

事務局

- ・それでは、「新大垣城ホールの階層等」について、ご説明させていただきます。資料の9ページをご覧ください。

「新大垣城ホールの階層等」につきましては、新大垣城ホールの建物を計画するための最低建築面積。建物を上から見るときの面積になりますけれども、これを算定して2階建ての場合と3階建ての場合、建物の階層を検討するものでございます。

- ・最低建築面積の試算でございますけれども、多機能ホールとステージを除く床面積を階層数、2階か3階で割って、そこに多機能ホールとステージ、車寄せ面積を加えて求めております。

これにより計算いたしますと、2階建ての場合の最低建築面積は約5,600平方メートル。その下のイメージをご覧くださいますと、多機能ホールの両側に必要となる部屋を2階層で積み上げた形になっております。

同様に、3階建ての場合の最低建築面積を計算いたしますと、約4,500平方メートル。こちらのイメージをご覧くださいますと、多機能ホールの両側に必要となる部屋を3階層で積み上げた形となります。

どちらも多機能ホールの高さは変わりませんが、最低建築面積を比較いたしますと、3階建ての方が2階建てよりも約1,100平方メートルほど少ないという結果になりました。

- ・次に、10ページをご覧ください。

「階層・最低建築面積」でございますが、多機能ホールの天井高は、

現ホールの大ホールと同程度高くする。観覧席を2階に配置すること。これらを条件にいたしまして、2階建てと3階建ての最低建築面積を比較検証しましたところ、立面空間を有効活用できます3階建ての方が、建物や敷地を検討する上で経済的であることから、建物の階層は3階建てが最適であると考えたものでございます。

その下のイメージをご覧くださいますと、1階から3階までの中央に多機能ホールの空間がございまして、これを中心にして各階に必要な部屋を配置した形となります。下の表には、市内の他施設の建築面積と延べ面積を掲載しておりまして、新大垣城ホールの最低建築面積の見込みは、大垣市総合体育館、武道館に次ぐ大きさとなっております。以上が、「新大垣城ホールの施設規模等」のうち、「大垣城ホールの階層等」についての説明でございます。よろしくお願いします。

委員

- ・また、最初の発言に戻るんですが、基本方針で「歴史」「やすらぎ」「にぎわい」と、先ほど部長さんの方から「大垣城ホールだけのことでから当たらないんだ」というご発言もありました。

ただ、この大垣公園が「歴史」「やすらぎ」「にぎわい」を基本方針、コンセプトとしてとっていくと、今の大垣城ホールは大垣城の二の丸の上に建っていますので、そこに、もし建てるのであれば完全にこれは3つコンセプトが必要ですがけれども、それ以外の場所に建てられた、この3階建てを建てるんだというふうになった場合には、そのエリアの外であっても、私はこの大垣公園のコンセプトの一つである「歴史」「大垣城」というのがいろんな方向から大垣のシンボルとして見える必要があるんじゃないかなと。大垣公園のエリアの外に、この大垣城ホールを建てるとしてもですよ。建てるから関係ないんだということではなくて、外に建てるとしても、この大垣公園のコンセプトの一つである「歴史」大垣のシンボルである大垣城というものがいろんな角度から本当は見えた方がいい。

今の状態ですと、北からはほとんど見えませんし、OKBさんのKixビルもありますし、様々なところからそのシンボルが見えるような、そんなことが私は必要ではないかなというふうに思っています。

- ・今回の大垣公園の基本構想から外れたところに建てるとしても、そういった景観のところ、大垣のシンボルである歴史というものに対しての大垣城ホール、こういったものが大垣のシンボルとして広く、観光に関しても、イベントとしても絶対必要ではないかなというふうに思

いますので、その点を考慮して2階建てにするのか、3階建てにするのか、また、場所はどこにするのかということを是非今後も検討いただきたいと思います。

委員長

- ・今のご指摘は大変大事な点だと思うんですが。大垣城の視認性との関係でこの3階建てというのはどうなんだ、ということについて事前に研究されていたら、ご報告いただきたいと思うんですが。

事務局

- ・大垣城は、今、天守の頂点で約26メートルございます。展望となりますと、もちろん見上げる形の眺望もございますし、大垣城からの見下ろす眺望もございます。どの場所からどの程度見えるかということを、今全方位やっております、第1回に申し上げましたように、今後、委員会の中の第3回、4回の辺でしっかり今回の規模感が出てきますのでその規模感で建てた場合、見える角度、見える場所が限定されてきます。もちろん建物の後ろにいきますと見えませんが、大垣城ホールが現在立っているところは、必ず広場などになりますので、その位置から天守は見えるということになりますので、第4回、5回以降に資料でしっかりお示しをさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

委員長

- ・26メートルとは天守の一番上ということですね。今、松山も大変なことになるんですけど、土を積んだ上に建てられていますので、3階建てのものがどこか平地のところに立ったとして、それが10何メートルですよ。ある程度の視認性は、確保できるというお考えでされているのか、それとも3階建てを建てたらそっち方向からは見えませんよ、ということなのでしょうか。

事務局

- ・今、お話がありました、現大垣城ホールの一番上の建物の高いところでございますが、約22メートルでございます。実際に私どもが確認をしているところで申し上げますと、大垣城ホールの南から人間の目の高さ1メートル50で見ますと大垣城は見えません。ただし、少し西側に行きますと大垣城が一部きれいに見える形があり、それが今度は大垣公園からずっと見える形になってきます。
現状から行きますと、必ずその部分については見えるようになりますが、今後、建物の大きさや位置が決まってまいりますと、今度はその

位置からということになりますので、建てる場所と見え方というのを次の段階でお示しをしていくのが、いいのかなと思います。

委員長

- ・どこに建てるか、まだ決まっていませんけれども、近くに建てるということであれば、3階建ての建物が建つと360度どこからも見えるという風にはならないと。その建物と城が直線上に並んだところでは見えなくなりますよ、ということが前提ですということですね。
- ・それを踏まえて、それでいいのかどうかということも議論になるのかもしれないし、文化的なものを損なわないような形で、それらしく整えた建物として建てるのかどうか。総合的に判断していくということになりますけれども。視認性だけで言えば、そういう限界があるということですね。
- ・3階建てということについては、その点に尽きるのかなと。多分この大きさはめ込んでいくのに、3階建てぐらいになるだろうということ、今、申し上げたような大垣城との関係で限界が出てきますということですね。

委員

- ・外観デザインも■■■■委員が言われたように、「歴史」「大垣城」という古くから市民のステータスといいますか、誇りでございますので、大垣にはIAMSという芸術性がある大学院がございますので、そういうところに、やっぱり大垣城とマッチングするような。これはデザイン的なことになろうかと思うんですけれども。ただ単に四角い建物が3つありますよ、とか平らなものがありますよ、ではなく、やっぱりその芸術性を持たせて、大垣の特にお城という一つのテーマと強調する、同調するようなテーマを与えて、なおかつ芸術性、今トイレですら、インバウンドで見に行く人が多いので、やはりそういった会議所としては芸術性を持たせて多くの人が見ることでも関心を抱いていただけるようなものを作っていただくといいかなと、これからデザインも考えられるのであれば、■■■■委員と同じような意見なんですけれども、やはり、大垣城という一つのテーマのもとに、その一角、損なわないような、なおかつ、これから外国人労働者も増えてくると思いますので、そういった方も文化が分かるようなものにしていく、建物にしていくといいかなと思います。なおかつ、地域の資源であるIAMSなんかをどんどん活用していただくと、なおいいかなと思っています。

- ・最後になってやっと私がこの委員会に呼ばれている意味がわかってきました。私は、実は名古屋市市庁の広告・景観審議会とか、歴史まちづくりのことと、犬山とか美濃とか、何か所かお城を中心とした整備とか史跡整備とかに関わってきたものですから、今の委員のお話であると、もうすぐ、名古屋城の西側に名古屋キャッスルって皆さんご存知ですか。名古屋城が見える昔からホテルがあります。建て替わります。実は、名古屋城の周りではキャッスルが建て替えをするということで、変なものが建てられちゃ困るってことで、西側ですごく見えるものですから、高さ規制を先にかけなきゃいけないということで、今、名古屋城の周辺は、名古屋城の中から邪魔にならない、それから、周りに高い建物が建たないというような高さ規制の眺望規制をかけることにしたんです。ただ結果として、キャッスルはその高さ以下で作っていただけることになったんですが、なかなか度肝を抜くようなデザインのものでできています。どういうものが歴史的風致にふさわしいのか、なかなか難しいので、またそれは、今後、進めていただければいいのかなと思います。
- ・それから、先ほどから私は建築の専門家なのか。史跡整備の専門家か歴史学者として発言すべきなのか迷っています。建築で行くとですね、先ほどの9ページ目に3階って書いてありますが、普通のマンションの3階じゃなくて、単純には6・7階建てのマンションがドカッと建つことになります。大きなアリーナですから箱がドカンと建ちますから極論すると、それは正面のデザインをどうやろうが、全然オーバースケールのものが近くに来てもいいのかどうなのかという議論は、景観レベルでは必要なのかなと思います。
- ・事前にこの資料を送られてきたので、これはひょっとすると大垣市さんの高等戦術かなと思いました。この件の建物を建てると、いろんな団体の要望を入れていくと、どんどんスペックが上がっていくし、スペースも大きくなっていくんですね。一番典型なのは、皆さんご存じの東京オリンピックの国立競技場が、実を言いますと、あれは、建築関係ではとても有名なプロジェクトでして、国際コンペで400メートルの陸上もできて、サッカーもできて、ラグビーもできて、屋根が空調も全部フルシーズンでかかって、屋根もかかって、というフルスペックの競技場を作るって話でした。巨大でべらぼうな予算になったので、一遍チャラにして普通の競技場になった、というのは皆さんご存じだと思います。

だから、皆さんの要望を入れると、こんなにでかいものがあの近辺に立ちますよ。もうちょっと細分化して他に分担できるものを再配置してやっていくという、それをプロデュースするための案かなと逆に私は勘ぐったのですが。今日、意見が出たようにたぶんこれを全部は入れられないですよ。

- ・しかし、一番ちょっと気になったのはですね、委員会が大垣公園等再整備なんですね。大垣城ホール再整備でもないし、もっと言えば今日の議論は市民ホール再整備ですね。比較的交通の利便性のいいところに市民レベルでのいろんな体育活動だとか、いろんな活動のための設備を作るためには、こういうボリュームのものがと要望を言っているのですが。それを大垣公園に作るのか、大垣城に作るのかというところは、ちょっと正直言って疑問符がありました。専門の立場からいくと、皆さんご存知のように、もうすぐ名古屋場所がありますけれども、愛知県体育館は今、名古屋城の中にあります。あれ、でかい屋根がですね、周りから見ると名古屋城を邪魔するんですよ。今度、北の方に移転します。名古屋城内の景観をやっぱり守ろうと。実は私、名古屋城の本丸御殿とかにもずっと関わっているんですけど、名古屋城をこれから市民に開いた施設としてどうしていきますか、という議論が今、始まっているところですよ。
- ・それから犬山城は、お城のすぐ正面にでかい体育館があったんですが、お城の前に体育館が邪魔しているよ、ということで取り壊しを行ったんですね。体育館どころじゃないです。市の中央公民館をですね。6階建てくらい大きな建物ですかね。それも取り壊しました。他にその機能に移転させようというふうにして。
- ・別に、全国のお城跡の魅力作りが、歴史まち作りという魅力作りが、そっちに向かっているけれども、大垣市は全然別に違うんだという話であるならそれもいいんですが、基本的には市民と観光に開かれた城跡の魅力作りというふうに、城跡の整備が向かっている時に、そこにどういう施設が必要なのか。今、広場で子どもたちが遊んでいる公園とかがありますけど、夏になったら多分クーリングスポットみたいなのが当然必要になってくるし、シェルターも必要になってくると思うんですよ。それが災害になったらいろんな物資の拠点の集配の施設に転用できないかとかですね。それは多分、市役所の近くでという立地条件が必要だろうけれども、本当にあの体育館とかがですね、あそこにいなきゃいけないのかというのは、ちょっと部外者としてはとて

も不思議な感じがしていて、今日は、いかにこれだけいれるとでかくてですね、あそこに入るともうどうしようもなくなるよ、ということの一つの警鐘を鳴らす意味の提案かというように勝手に受け取っております。

- それから都市計画まちづくりに関わるレベルからいきますと、郭町のところのウォークアブルシティの、今、国土交通省が中心になってですね、やっぱり界限を歩きながら楽しめるまちづくり、というのが盛んになっています。それから、名古屋市に行かれたことがあるかもしれません。100メートル道路のテレビ塔のところでずっと大通りの公園があつてですね。そこはもう民間の資本を入れながら、いろんな、本屋さんがあつたり、いろんなものを分散配置してですね、休日には子ども連れだとか、ペットを連れた人たちが都市の中心部に集まるような施設にしたり。都市のオープンスペースとしても大垣公園は大事なんで、そういうレベルで子育てしている人たちが安心して安全に過ごせるような、特に休日を中心に。あるいは平日の午前。そのための施設はどういうのがいいのかというと、大きなでかい、いろんな機能を入れた大きな箱っていう風には、今、全国ではいろいろオープンスペースの開発をとってもやられているんですけど、全然違うレベルになります。私が知っている多治見の駅前にあります、虎溪用水公園だとか、岡崎の籠田公園だとか、ショップだとかコーヒーショップだとか、それから休憩施設だとかが分散配置された中で、木陰もあつて、ベンチもあつて、そういうような市民の憩いの場っていうのがオープンスペースとして整備の趨勢ですので、必要とした機能を全部箱に入れるんじゃないくて、もう少し再配分して、それは大垣公園の中に必要ですかっていうことから考えられた方が、100年の計という意味では、私は特策じゃないかなと、個人的には思っているんですが、なにぶん去年の1年間の議論とかがどうだったのか私もわかっていないので。やっぱり大垣って、基本的には大垣城をリスペクトした場所であるし、他のお城のない自治体にとっては、お城を持っている自治体ってとっても羨望の的なんですよね。そこを確認して、市のシンボルとして魅力づくりを、そこを中心に作っていけるっていうのは、都市計画レベルではとっても羨望の的でもあるところなので、そこに何が必要なのかなってことで。

冒頭に■■■■委員のお話もありましたけど、ひょっとするとそういう議論なのかなと思っていたんですが。今後、もしそういう議論があれば

お力になれることもあるかと思ひますし、大きな箱の市民ホールを作るのであれば、ちょっと私は場違いな感じなので、それも含めて、今後何をあそこに求めるか、大垣公園に何を求めるかっていうのを、もうちょっと立ち止まって考えていただいた方がいいのかなと思ひます。

この発言は、今日で終わりにしようと思ひていまして、市民が、皆さんがこの現状でよければ、今日の進行で、箱決まりました、その箱どこに置きますか、ということの議論でよければそれで結構ですし、それはそれで市民の総意として、私はとっても大事だと思うんですね。ただ、今の都市の中の貴重なオープンスペース。それからお城を中心とした魅力あるスペースを商工観光、それから市民の憩いの場としてどう生かすかという、全国の事例とか私がかかわる事例から見ると、ちょっとベクトルが違う感じがしました。

それはあくまで私の、市外の人間の感想ですので、市民の皆さんがどういふものをあそこに求めるのか、冒頭にありました取捨選択していかないといけないと、全部をやっぱり入れるのは無理だし、本当にあそこにそんなものを作らないといけないのか。その機能を大垣公園に負わせなければいけないのですか。その事によって大垣城や大垣公園の折角の魅力が失われるんだったら、もうちょっと別の所でも十分いいんじゃないですか、という事があれば、そういう機能は引き算をして考えて頂いた方がいいんじゃないかな、という感じがしました。

すみません。長く喋りまして、もう市民の会ですので、今日で最後にしようと思ひますけど、もう一度ご検討いただければと思ひます。終わります。

委員長

・はい。分かりました。一応、どちらかという委員長として引き取らせていただきます。経緯的に申し上げますと、これが大垣公園の話なのかという城ホールの話が並列してずっとある所だと思います。城ホールが耐震的に持たない。建て直さなければいけないのでどうしますかという中で、公園再整備と一緒にやって来ていて、昨年度の議論の中では、実は市の方ないし、議会の皆さんからのお話としても、体育施設と文化施設と合わせた機能を持ったものを作りたいみたいなお話もある中で、ちょっと、それ両方は無理でしょうということで、文化の方については、また改めて検討して下さいという形で答申をまとめて、体育施設を中心という形で去年の取りまとめはして、進んで

きております。

- ・ 今のご発言ないし、今日、全体のご議論の中で機能を絞るという中では、ちょっとこれは公的な委員長としての言葉としては言いにくいですが、すけれども、どちらかというところ、ここで本当に体育施設、大きなものを作るのというお声ですね。今の■■■■のご発言は、まさにそこに焦点があたる場所だったので。ただ、現実問題としては、市のリソースに限界がありますので、城ホールをどこかに建て直さなければいけないというのは、これは大前提としてある。それをどこに建て直すんだと。
- ・ どこにでも建て直せるのであれば、いろんな議論ができると思うんですが、すけれども、それが無いのであれば、ここに建て直さなければいけないという話になってきて、それがいいものかどうかと。
- ・ 多分、今の■■■■のお話には、皆さん説得されたんじゃないかと思います。私も説得されています。そういうことだろうと思います。理想論で言えば、比較的こじんまりとした、交流と子どもが遊ぶような施設、カフェ的なものとかを含んだ施設が公園に付随する形でお城の近くにできたらいいな。これは誰しもが賛成できるというところだと思うんですね。それを取ったときには、今度、体育施設をどこかに建てなきゃいけない。その場所が見つかって、そのために必要な予算を手当できるのかという市のリソース上の問題というのがどうしても出てきて、どっちもできればそれに越したことはないと思います。皆さんは賛成で、じゃあ、こっちはこういう形で交流的な部分を作ってどこか別の場所に体育館を作りましょうという話で、それが進めれば、可能性はゼロじゃないとは思いますが、すけれども、現実にはそれが、そんな場所があって、それが市の土地でなければ、それを買収しなきゃいけないわけですし、それなりの予算がグッとかかってきて、それが現実的な市が負担する予算の中に収まっていくのかというところがどうしても出てくる話だと思いますので。
- ・ 折角、副委員長としてお越しいただいている先生からのご発言でもありますし、ちょっとこれは真剣に受け止めさせていただいて、その上でやはり限界があって、ここで立て替えないことには立て替える場所がないということであれば、それはもうそこでやっていくしかないことなのかなと思うので、そこはやはり現実に徹していかないといけないというふうには思いますので。
- ・ そこも含めてちょっと市の方として。去年進めてきたものがあります

ので、この議論を今しては、委員長としての公的な流れとしては、この議論に乗っかってはいけないんだというのはあるんですが、去年1年間を踏まえた上で、今日いくつかご発言の中で、根本的に機能を詰め込みすぎているよと、もっと機能について考え直してくださいというご意見でした。面積についてもかなり大きな面積でした。それが3階建てになりました。3階建てになった場合に、おっしゃる通り、マンションの3階建てではありません。OKBの本店の3階よりもちょっと高いぐらいの、かなり大きな3階建てになりますので、これは確実に大垣城の景観に対しては、何らかの異物感というのは漂わせるだろうと。昨年副委員長をお願いしていた[REDACTED]もせっかく城の公園整備をするのにその横に建物を建ててどうするんだ、みたいなことはおっしゃっていましたので、そういったご専門の皆さんからのご意見も踏まえて、本当にこれしか選択がないのかという点については、もう一度改めて市の方にも洗い直していただいて、でも、やはり現実的には、今、城ホールはもう立て直さないといけない。これは現実問題として建て直さなければいけない施設になってきている中で、その場所が見つからないのであれば、そこに立て直すしかないから、じゃあそれは、どうしたらおっしゃられるような景観を損ねないで、なるべく他のニーズとも見合った形になるのかという形で事前の策として検討せざるを得ないと思うんですね。そこは踏まえていただいて。

- ・ただ、一度動き出した船は旋回できないんですよ、という話ではなくて、今日、折角たくさんご意見を頂戴いたしましたので、それは引き取らせていただいて、ただ求められる規模感がこれくらいだということについては大体ご説明いただいて、そんなに無茶苦茶な話ではなかったと思いますので、そういった規模感の中で、こういった機能をここに収めていってどれくらいにするのか、分散できる可能性がないのかということについては、改めて市の方と検討いただくということで、そういう形で引き取らせていただくということでよろしいでしょうか。部長さんよろしいですか。

副委員長

- ・建物がダメだと言っているんじゃないんですよ。今、基本的には都市の中心部で空き地はお城跡しかなかったんで。小牧なんかも城跡のところ市役所がありましたから。それを外に出したんですよ。全体としては、本来あった場所の魅力をちゃんと生かす形で、それから市民にどう開いていくかという施設として、城跡というのは全国の趨勢

としてはあるので、城の中に、また大きい建物を建てるというプロジェクトで、多分、私の知っている限りでは全国にはないです。高校とか大学も全部移転しています。金沢も全部出ましたし、鳥取も高校が出ましたし、大体、そこをきちっと観光資源、それから市民のオープンスペースとして整備していこうというのが、全国の趨勢なんです、それじゃないのを今委員長おっしゃるような別の経済的なファクターも含めてやる時には、その覚悟を持って。100年後、みんなあの時は空き地にしたけど、大垣市のお城の近くに建てた方が正解だったよね、となるように、かなり腹をくくって覚悟を持ってやっていただかないと。いろんなところで今はお金もないしというのではなくて、先ほどから言っている100年の計という話があったら、今の市民開放にするという趨勢を全く逆のベクトルのプロジェクトを進める、だけど、これが正しい道なんだという覚悟を行政の方が持っていただかないと、それくらいの腹をくくってやるように、是非、箱を作るならやっていただきたいと思うんですね。

- ・ そうしたら市民も納得するんだらうと、それだけをお伝えしたかったんです。なので、覚悟をしてここに物を建てるんですって言うなら、それはそれで結構なんです。反対というわけではない。

委員

- ・ 副委員長のお話を伺いながら、3階建てということが出ましたよね。別に上へ足さなくてもいいんです。下へ。この機械室とか会議室なんて地下でもいいと思うんですよ。そうすると2階建てになると思うんですよ。だから上じゃなくて下へ。ここは地盤がちょっときついな。二の丸の敷地ということになっていますけども。二の丸のような形を、外観を作ってしまうということも一つどうなんだろう。極端な話ですけども。入ったらここ体育施設だなんていうぐらいの、そんな感じでも。別にこのイメージは私は取れないんですけど、外観も変えちゃって、景観も含めてそういうイメージの物を作ってもどうなんかなという思いがしたんです。だからあくまで上へじゃなくて下へということだったな、というそういう思いがあります。

委員長

- ・ ありがとうございます。

副委員長

- ・ 地下水が高くて、災害のことを考えるとなかなかちょっと。大垣ってとっても不利ですよ。下を掘ると水が出ちゃって。

委員長

- ・長良川近くのふれあい会館ってところなんかは地下駐車場を作りたいかったのが、地下水出ちゃって作れなかったというところもありますけど。

副委員長

- ・その中でどうコストをかけてちゃんとやっていくかも含めて。

委員長

- ・絶対お金はものすごくかかることなので、経済的なところで言うと、非常に厳しいハードルの高いお話かと思います。今おっしゃっていただいたように、大きな流れとしてそうですよということを踏まえつつ、どうしていくべきか、ということで、こういった市民検討会議という形を立ち上げてやっているわけなので、それを踏まえてやっぱり場を構えている以上はそういった形での議論を答えていただくということで、ご検討いただければと思います。
 - ・東京都は、日比谷公園や外苑の再開発の計画は、あれは委員会制度では一切やってなかった。東京都で同じことをやったら、もう大変なことになるので、とてもできないという形で、ある程度の行政主導でやっているんだと思うんですけど、こちらではこういった形で意見を受けながらということですから、それが建て前でなくて本当にいただいた意見は検討するということで。確かに流れ上は、昨年を踏まえて今年をやってきていますから、ちょっと1年程度遡る議論という部分もあるんですけども、根本的にちょっと問いかけもございましたので、それを答えるということで少しその部分についても検討させていただいた上で、次回、適地候補地についてある程度細かい提案になるのか、それとも大きな話として、やはり候補地はここだという形でのご提案になるのか、兎に角、候補地について次、議論できればというふうに思います。
 - ・規模感については、大雑把なところとしては、今日のところ、機能的にこういうものが入ってきて、これくらいの規模になってきます。だからその規模を小さくするのであれば、機能を分けていかなければいけないし、というようにところでご了解、その理解を進めることができたんじゃないかと思いますので、その理解のもと、次回以降進めていければいいと思います。
- 会話を重ねてもいろいろ話して何も進まないということだと、それはそれで困りますので、何らかやはり進めていきたいというふうには

思いますので、今日頂戴したご議論としてこれだけ大規模なものをどこに立てるんだということで、基本的には候補地に関わる論点だと思いますので、次、この程度の機能と規模感を前提としつつ候補地ということで、次回は議論させていただければと思います。ということで、そういう形で進めさせていただいてよろしいでしょうか。

- ・では、そういうことで次回は候補地について議論させていただくということと、それから今日様々なご議論をいただいた点。特にステージであるとか観客席についてはご指摘いただきました。それを踏まえるとまたひょっとしたら規模感が小さくできるかもしれませんし、そういった検討も重ねるということで、他市町村の施設の状況も調べていただいて、やはり、お声としてはこの城周りに作るんだから、公園周りに作るんだったらなるべく小さい方がいいよ、というご意見だと思います。その方向性でできることはないのかということも調べていただくということで、次の会議までに準備をいただければ、というふうに思います。以上で議事を終了させていただきまして事務局に進行をお返ししたいと思います。ありがとうございました。

事務局

- ・委員長ありがとうございました。
皆様も長時間にわたりまして、ご協議を賜り誠にありがとうございました。
これを持ちまして、第2回の会議を閉会させていただきたいと思います。
次回につきましては8月を予定してございます。また別途ご案内の方をさせていただきます。ご出席いただきますようよろしくお願いいたします。
本日は、誠にありがとうございました。
傍聴席の皆様もご退席をお願いいたします。

(終了時刻 16時46分)